

石垣島ブルーカーボンプロジェクト ～オキナワモズク養殖による環境再生型養殖～

プロジェクト概要

- 沖縄県は全国有数のモズクの生産地であり、全国シェアの9割を占めており、八重山エリアは県内で2番目の生産量を誇る。
- 環境変動(赤土流入や藻場縮小)や気候変動(日照・水温)が複合的に影響することで、年により大きく変動するなど生産量が不安定になったり、流通量が不安定になるなどの課題を抱えている。
- 株式会社ヴェントゥーノと株式会社勝水産は11年前より本プロジェクトを開始。株式会社勝水産によるオキナワモズク養殖の実施、株式会社ヴェントゥーノによるそれを原料とした健康食品・化粧品開発により永続的な活動の推進、ブルーカーボン創出に努めている。



プロジェクトの特徴・PR

- 石垣島では初となるオキナワモズクによるJブルーカレジット認証取得！
- クレジット取得を通じた、CO2吸収源の創出により特産品であるモズクの付加価値の向上